

## 第3学年 社会科学習指導案

### 1 小単元 店のしごと

#### 2 小単元について

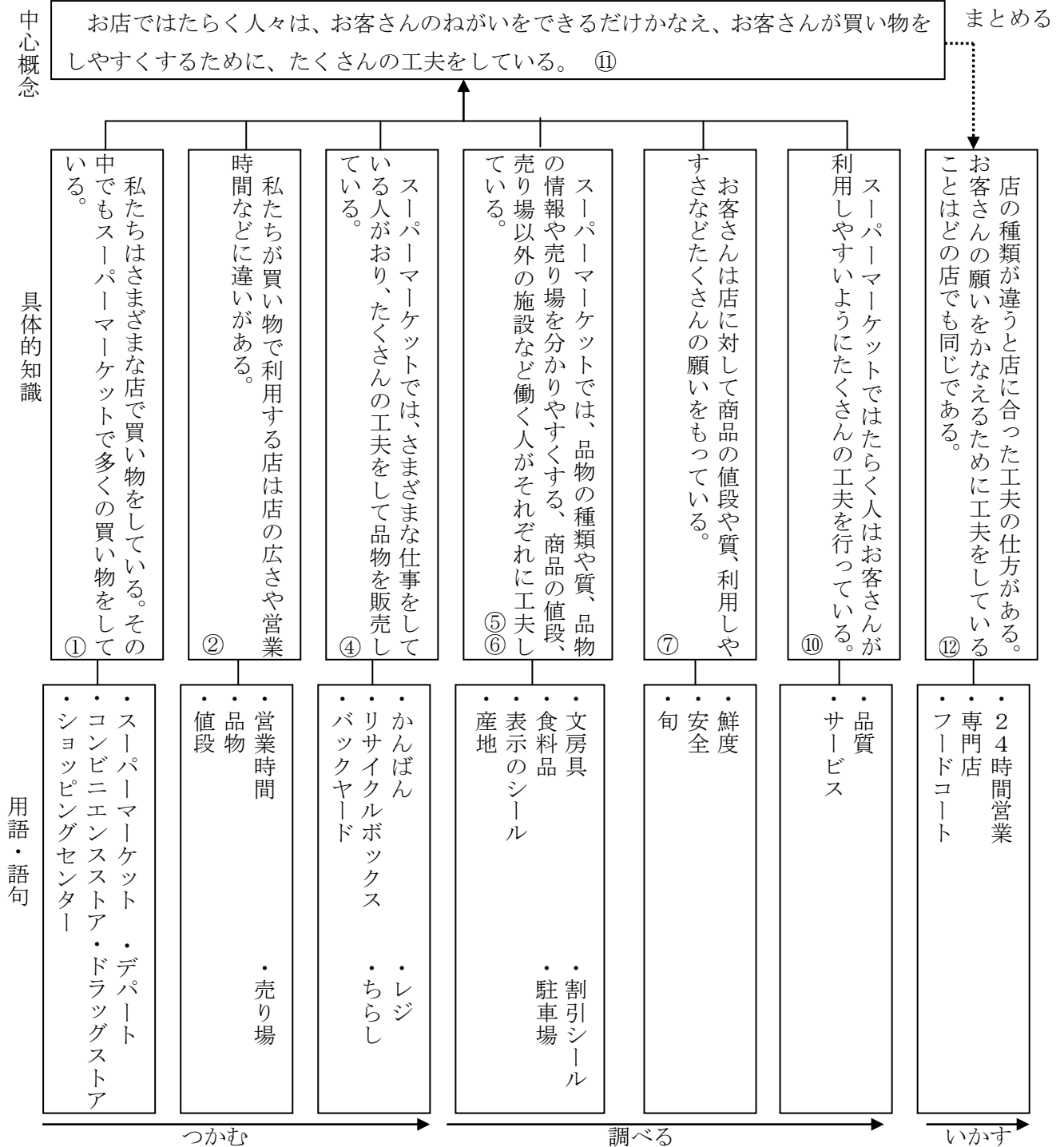
本小単元は学習指導要領第3学年の内容(2)「地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」のア「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること」及びイ「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を受けて扱うものである。

これまでに子どもたちは、前小単元「市の様子」で、航空写真や地図を使って、市の特色ある地形や土地利用の様子、交通の様子などについて調べ、土地の様子や使われ方が建物や交通の様子、人口と関係していることを学んできた。調べたことを比較して考える活動を通して、市の様子は場所によって違いがあることに気づくことができた。地図記号などの知識を活用して資料を読み取る活動に面白さを感じる子どもや資料から一つの情報だけでなく、土地の高低、周囲の自然環境、交通の様子、人口、建物の様子などさまざまな情報を読み取ることに楽しさを感じる子どもが増えてきた。一方で学習問題に対するまとめを調べたことから文章で表現する活動は難しいと感じる子どもが多く見られた。本単元では店ではたらく人たちがたくさんの工夫をしていることを学習する。単元を通して、学習問題を解決することを意識して、調べたことを使って言葉でまとめを表現する力がつくように学習を進めていきたい。

本学級では、社会科の学習に対して「新しいことを知ることができる」という前向きな気持ちをもって取り組んでいる子どもが多い。資料を見て、気づいたことをたくさんノートに書いたり、発表したりすることができる子どもも多くいる。ノートを持ち寄って調べたことを伝え合う場面を設定すると、友達の見解で自分が気づけなかったものを探し、たくさんのことを調べようとしている様子が多くみられる。これは、資料から多くのことを調べたいと考えていることの表れだと考えられる。一方で、調べたことから学習問題に対してのまとめを考え、言葉を使って表現する活動では調べたことをそのまま羅列したり、自分の力では書き出せなかったりする子どもが見られた。また、自分たちでも学習したことを言葉でまとめることが苦手だと感じている子どもが多い。このことから、単元を通して何を調べるのかをはっきりと認識できていない状態で、資料から決まった観点の事柄を探すだけで学習が進んでしまっている子どももいると考えられる。

本小単元では、スーパーマーケットで働く人々がさまざまな工夫をしていることに気づき、消費者が店に対してさまざまな願いをもっていること、その願いをできる限り叶えようとして工夫がなされていることを理解できるようにしたい。そこで、スーパーマーケットで働く人々の仕事を見学したり、インタビューをしたりする活動、消費者の思いをインタビューする活動を行い、どのような立場の人々がどのようにして店の仕事にかかわっているのかを具体的に理解できるようにする。終末に、学習してきたことを振り返り、ホワイトボードを使ってまとめる活動を設定する。活動を通して、スーパーマーケットで働く人々の仕事の工夫と自分たちの店に対する願いが深くかかわっていることに気づき、自分たちの生活と販売の仕事とのつながりについて考えたことを言葉で表現することができるようにする。本単元の学習を通して、子どもが社会事象に対してもった疑問を解決するために必要な情報を集め、調べたことを関連付けて考えることで疑問が解決できるという実感をもてるようにしたい。

### 3 小単元 知識の構造図



※③、⑨は見学活動のため、⑧、⑬、⑭、⑮は新たな知識はないために欠番

### 4 小単元の目標

- 地域には販売に携わる仕事あり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などとの関わりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとする。
- 地域の販売の仕事の様子から学習問題を見出し、見学・調査したり、資料を活用したりして具体的に調べたことを作品にまとめるとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。

## 5 小単元の評価規準

評価の観点	評価基準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ○地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○地域の人々の販売の仕事の様子を自分たちの生活と関連づけて考え、適切に表現している。
観察・資料の活用の 技能	○観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。
社会的事象 についての知識・理解	○地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解する。 ○地域の人々の販売も見られる仕事の特色や国内の他地域などのかかわりを理解している。

## 6 小単元の指導計画（15時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容
つ か む	1	○ 買い物調べの結果から、分かったことを話し合う。 ・スーパーマーケットに買い物に行く家が多い。 ○ なぜ、スーパーマーケットを利用するのかについて考える。 ○ 客にとって利点があることを予想し、確かめるための方法を考える。 ・見学しにいけばよい。
	2	○ スーパーマーケットの秘密を探すために見学することを話し合う。 ・どんな仕事をしている人がいるのか。 ・売り場の様子はどうなっているのか。
	3	○ スーパーマーケットの見学を行い、働いている人たちの様子について知る。
	4	○ 見学の振り返りを行い、スーパーマーケットがさまざまな工夫をしていることから問いをもち、学習問題をつくる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><b>学習問題</b> なぜお店ではたらく人はたくさんの工夫をしているのだろう。</div> ○学習問題に対する予想をし、学習計画を立てる。 ・お客さんにまた来てもらいたいから工夫をしている。 ・お客さんが使いやすいように工夫をしている。
調 べ る	5 6	○ 見学で見付けた工夫についてまとめ、わかったことを話し合う。 ・たくさんの仕事の種類があった。 ・売り場には、品物の並べ方や看板などたくさんの工夫がある。 ・売り場だけでなく、商品の数や種類も工夫されている。 ・売り場以外の場所も工夫されている。

	7	○ 保護者・教員へインタビューをして、お客さんの願いを調べる。 ・安全でおいしい食品を買いたい。 ・一度の買い物で必要なものを全て買いたい。 ・品物をすぐに見つけたい。
	8	○ スーパーマーケットでインタビューをするための計画を立てる。 ・働いている人はどんなことに気を付けて働いているのかな。 ・どうして、大変なのに工夫をしているのかな。
	9	○ スーパーマーケットで働く人にインタビューをして、工夫をしている理由を調べる。
	10	○ インタビューからわかったことをまとめ、学級全体で伝え合う。 ・旬の食材や新鮮な食品を並べられるように品物を仕入れてきている。 ・安心して食べれるように、産地や賞味期限をシールで表示している。 ・調理しているところを見てもらえるように、ガラス張りにしている。
ま と め	11 本 時	○ これまでの学習でわかったことや考えたことのつながりをホワイトボードを使って整理し、話し合う。 ・品物をすぐに見つけたい願いは看板や表示でかなえられているよ。 ・おいしい食べ物を食べたい願いは旬の食べ物やおいしい産地の食べ物を仕入れることでかなえられている。 ・一度の買い物で済ませたいお客さんのために、食品以外の品物も並べている。 ・お客さんの願いは店の工夫で全てかなえられている。 ○ 学習問題に対するまとめを考える。 ・お客さんのねがいはお店の工夫によってかなえられていたね。 ・願いをかなえてあげるとお客さんはまた来てくれるのではないかな。
		<p><b>まとめ</b></p> <p>お店ではたらく人々は、お客さんのねがいをできるだけかなえ、お客さんが買い物をしやすくするために、たくさんの工夫をしている。</p>
い か す	12	○ コンビニエンスストアやショッピングセンターの工夫についてスーパーマーケットの工夫と比べ、わかったことを話し合う。 ・スーパーマーケットと違う工夫がたくさんあるね。 ・お客さんの願いをかなえるために工夫しているところほどの店も同じだね。
	13 14	○ 学習したことをもとに、「ここがすごいぞスーパーマーケット新聞」を作る。 ・すぐにも買いたいものを見つけたいという願いに応えるために、看板を付けたり、表示を見やすくする工夫をしている。 ・よいものを食べたいという願いに応えるために、同じ商品でもたくさんの種類を販売したり、いろいろな産地のものを販売したりしている。 ・車で利用したいというお客さんの願いに応えるために、駐車場を広く用意する工夫をしているよ。
	15	○ 学年の友達にスーパーマーケットの工夫を紹介する。

## 7 市教研社会科研究主題解明のための方策

### 市教研社会科研究主題

変貌する未来を切り拓く社会科学習 ～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

#### <本年度主題解明のための方策>

研究内容 1 「深い学び」に導く単元づくり

研究内容 2 「深い学び」に導く授業づくり

本小単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容 1 「深い学び」に導く単元づくり

#### ○単元構成の工夫

本単元では、調べてきた知識を相互に関連付けて学習問題に対するまとめを、言葉を使って表現する力を育てていきたい。具体的には、店で行われている工夫はお客様のたくさんの願いと関係していることに気付き、店の仕事と自分たちの生活とのつながりを、言葉を使って表現できるようにしたい。そのためには、お客様の願いと店で働く人々が工夫を行う理由について子どもが理解して、まとめの学習を行う必要がある。

本学級の子どもたちは店の仕事に関する知識があまりなく、一度の見学では店の様子をたくさんの工夫に気付き、その理由について理解することは難しい。そこで、見学とインタビューの2度の具体的活動を通して、販売の仕事の特色について理解できるようにする。見学を通して考えた学習問題は子どもの問題解決学習に対する意欲を高め、「調べる」の過程で生まれた疑問を、インタビューを通して解決することで、「まとめ」の過程で必要となる知識を子どもたちが深く理解することができると考えられる。単元の終末で調べてきたお客様の願いとお店で働く人々の工夫のつながりを考えたときに、お店で働く人々の話を思い出しながら、自分たちのお店に対する願いがかなえられていることに気付き、自分たちの生活と販売の仕事とのつながりを子どもが表現できるようにしたい。

研究内容 2 「深い学び」に導く授業づくり

#### ○子どもが調べたこととのつながりを考えながら行うまとめの工夫

本時までに子どもたちは、見学やインタビューなどの具体的活動を通して、店で働く人々がお客様にとって便利である工夫をたくさんしていること、お客様が店に対してたくさんの願いをもっていることを調べてきた。「まとめる」の過程では販売の仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えることを通して、お客様のたくさんの願いが店で働く人々のたくさんの工夫や努力によってかなえられていることを、言葉を使って表現し、理解したい。子どもたちはこれまでに、お客様の願いと店で働く人々の工夫している理由について「調べる」段階で知識を個別に習得してきた。しかし、相互の関連性やつながりに関しては気付いているとは言い難い。そこで、本時では学習問題についてのまとめを考えるために、お客様の願いと店で働く人々の工夫の関係について考え、話し合う活動を設定する。前時までに整理しているお客様の願いがインタビューを通して調べてきた店で働く人々の工夫によって解決されている様子をホワイトボード上に表すことで、お客様がたくさんの願いをもっていることが、店で働く人々がたくさんの工夫をしている理由となっていることに気付くことができるようにする。付箋紙を活用することで、操作しながら話し合うことができ、思考が深まっていくと考えられる。ホワイトボードで整理した、消費者の願いと販売者の工夫の構造から販売の仕事と自分たちの生活がつながっていることを考えさせたい。

## 8 本時の指導（11／15）

### （1）本時の目標

○お店で働く人々の工夫と消費者の願いとのつながりに気づき、学習問題についてまとめている。

（思考・判断・表現）

### （2）本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
2	1 学習計画から本時の活動を確認する。	○学習計画の表を確認し、活動と学習問題を確認する。	○学習計画表
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">                     お店ではたらく人はなぜたくさんの工夫をしているのだろう。                 </div>			
5	2 お客様の願いについてこれまでの学習を振り返り、確認する。	○お客様がどのような願いをもっていたのか具体的に振り返れるように、ノートや掲示物を用いる。	○学習を振り返る掲示物
10	3 お店で働く人の工夫についてこれまでの学習を振り返り、お客様の願いとのつながりを考えながらワークシートに付箋紙を貼り付ける。	○掲示物を使って、前時までにまとめた工夫を確認したり付箋紙の貼り方を例示したりして進め方を理解できるようにする。 ○一つの工夫が複数の願いとつながることもあることを確認し、学習した工夫がどのような願いとつながっているのか捉え直すことができるようにする。 ○ノートを参照しながら、付箋紙に工夫を書くように促し、つながりを考える作業に時間を使えるようにする。	○ワークシート ○ノート
5	4 4人グループで話し合いながら、付箋紙をホワイトボードに貼り付ける。	○輪番で意見を出すルールを確認し、一人一人が発言する機会を確保する。	○ホワイトボード
5	5 各グループのホワイトボードを確認し、お客様の願いとお店の工夫について考え、発表する。	○各グループのホワイトボードの共通点を考え、考えを確かなものにできるようにする。 ○発表内容を構造化して板書し、お客様の願いとお店で働く人の工夫がつながっていることに気付くようにする。	

13	6 学習問題に対する自分の考えをノートにまとめ、発表する。	<p>○板書やホワイトボードを参考に考えるように促し、まとめを書く手助けとなるようにする。</p> <p>○具体的な工夫とそれによってかなえられている願いを書いてしまわないように促し、間違えてしまう子どもには「お店ではたらく人は」から書き始めるように助言する。</p> <p>◆お店で働く人々の工夫と消費者の願いとのつながりに気づき、学習問題についてまとめている。</p> <p>[思考・判断・表現] (ノート・発言)</p>	
<p>お店ではたらく人々は、お客さんのねがいをできるだけかなえ、お客さんが買い物をしやすくするために、たくさんの工夫をしている。</p>			
5	7 振り返りを行い、他の店の様子について考えるきっかけとする。	○本時の学習でまとめたことは他の店でも当てはまるのか考え、予想するきっかけとする。	